

No. 172

令和2年7月3日

【発行】

豊橋市立青陵中学校 校長室

t-asai-hideo@toyohashi.ed.jp

Rising Sun



油断大敵

【油断大敵】 自分の心の中の油断は、相手以上に恐ろしい大敵である。油断は失敗や災害の原因になることが多いので、大いに慎まなければならない、と諭したものだ。

三省堂 実用「ことわざ慣用句辞典」より

心配していたことが現実になりつつあります。東京では昨日、1日の感染者数が緊急事態宣言解除後最多となる107人だったことが報告されました。一時は1日の感染者が2人まで抑え込まれ(5月23日)、このまま収束に向かうのかとも思われていただけに、107という数字は正直ショッキングでした。そして今日、新たな感染者が124人であることが報告されました。2日連続で over100 です。皆さんはこの数字を見てどのようなことを思われるでしょうか。

諸外国で行われたロックダウンではなく、個人の意思に委ねられた外出自粛でしたが、多くの人々がため込んでいたフラストレーションは MAX を迎えていたのでしょうか。5月25日の緊急事態宣言解除後、街への人出は徐々に増えていきました。新たな感染者数が一桁となって、収束間近が見えてきたからでしょうか。人々の間で「油断」めいた気持ちがあったようにも思えます。ニュースの映像からも、マスクを着用していない人も散見されるようになってきました。主な感染源は接客を伴う飲食店など「夜の街」関連だとする報道もありますが、どうやらそれだけではなさそうです。

気にかかることは、新たな感染者は東京だけでなく、数は少ないとはいえ、全国各地から報告されたということです。愛知県の新規感染者は4月25日以降ゼロまたは一桁が続いていますが、決して油断してはなりません。暑さが増してきて「もううんざり」と思っているかたがほとんどでしょうが、授業中はもちろんのこと、外出するときのマスクの着用、手洗いと手指消毒の励行、いわゆる3密の回避、ソーシャルディスタ

ンスの保持等、感染予防の基本のキは継続していかなければなりません。after CORONA ではなく with CORONA なのですから。

豊橋市教育委員会は、5月19日「学校における新型コロナウイルス感染症対策等マニュアル」(第1版)を発行しました。このマニュアルに基づき、これまで教育活動を進めてきました。教科学習等における留意事項、修学旅行など泊を伴う行事、運動会(体育祭)や給食・清掃、部活動を実施するうえでの留意事項等がまとめられています。場合によっては窮屈に感じられるものもありましたが、生徒の健康・安全・安心が最優先ですから(実は私たちの健康・安全・安心のためのものでもあります)、皆さん納得してこれまで教育活動にあたってこられたと思います。

まもなく第2版が発行されると聞いています。文科省による「新しい生活様式を踏まえた学校の行動基準」に照らして、豊橋市は最も低い「レベル1」の地域になるそうです。教科によってはかなり不便さを感じていた授業も、第2版ではかなり緩和されるのではないかと推測しています。ただし、1mのソーシャルディスタンス、適切かつ十分な感染予防対策を行うことが大前提であることを付け加えておきます。

難読の漢字クイズです。ヒントなしで何文字読めるでしょうか。

- 1 外連
- 2 乃至は
- 3 若布
- 4 序に
- 5 徒ならぬ
- 6 強か
- 7 若しも



※ 答えは裏面 ⇨

1 外連

「けれん」。元々演劇の演出用語で「一般の人々に気に入られるよう狙った演出」という意味。現在では「はったり」や「ごまかし」という意味も。

2 乃至は

「ないしは」。「あるいは」と同じ意味で用いられます。「のしは」ではありませんよ。

3 若布

「わかめ」。古くは「海布」と書いて「め」（海藻の総称）と呼ばれていたそうです。

4 序に

「ついでに」。主に「一緒に」「おまけに」といった意味で使われることの多い言葉です。

5 徒ならぬ

「ただならぬ」。「徒」は訓読みで「ただ」と読みます。「徒ならぬ」は「普通ではない」「並外れて優れている」という意味です。

6 強か

「したたか」。本来は「とてもてごわい」「非常につよい」という意味で、「強かに賢く生きる猫」のように使います。

7 若しも

「もしも」。まだ起きていないできごとを、想定して言うときに使う言葉です。

さて、何文字読むことができたでしょうか。えっ、全問正解！？ すばらしい。神の領域です。